

# 三宅島 防災マップ

～正しい知識を身につけて、安全に避難を！～

地区	索引番号	名称	住所	電話
伊豆	③	活動火山対策避難施設	伊豆 480番地	2-7200
	④	三宅小学校・体育館	伊豆 468番地	2-0039
	⑤	三宅中学校・体育館	伊豆 470番地	2-0049
	⑥	みやげ保育園	伊豆 770番地	2-0064
	⑦	伊豆老人福祉館	伊豆1054番地	災害時設置
⑧	伊豆児童遊園	伊豆1054番地		

地区	索引番号	名称	住所	電話
神着	①	神着老人福祉館	神着 197番地	2-0009
	②	湯舟グラウンド	神着 936番地1	

地区	索引番号	名称	住所	電話
伊ヶ谷	⑨	三宅村コミュニティーセンター	伊ヶ谷330番地	2-0338

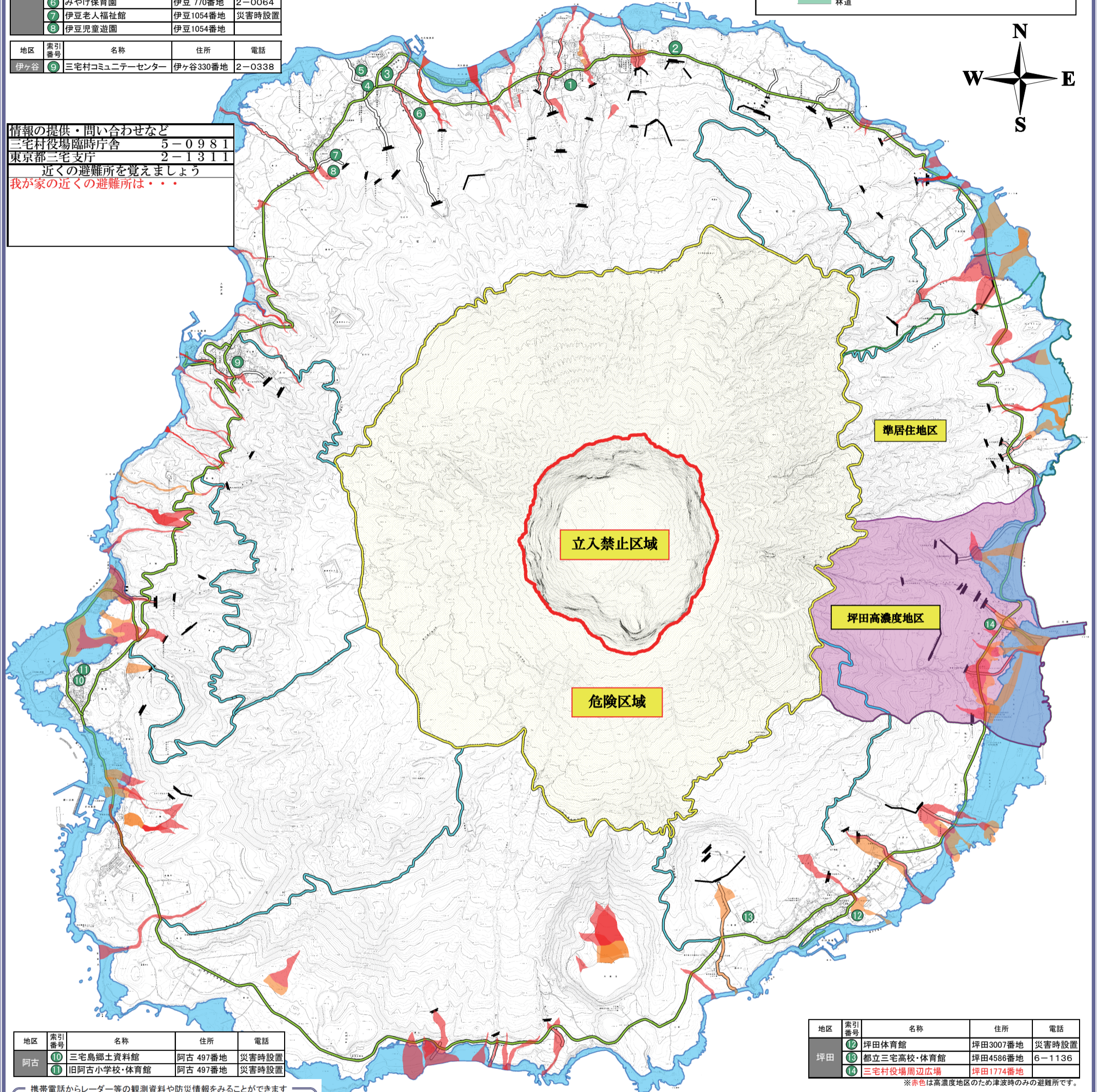
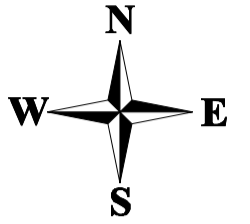
情報の提供・問い合わせなど  
 三宅村役場臨時庁舎 5-0981  
 東京都三宅支庁 2-1311  
 近くの避難所を覚えましょう  
 我が家の近くの避難所は・・・

凡

- ピンク色の区域は、特に大きな石や流木を含んだ泥流(水深50cm以上)が氾濫し、建物に被害を与える恐れが高いところです。
- 肌色の区域は、泥流(水深10~50cm)が氾濫し、建物に被害を与える恐れがあるところです。
- 青色は津波が発生した時に、被害を受ける恐れがある区域です。
- 紫色は火山ガス高濃度地区です。
- 黄色(はちまき林道より山側)は危険区域です。
- 赤色(火口)は立ち入り禁止区域です。

例

- 避難所
- 都道
- 林道



地区	索引番号	名称	住所	電話
阿古	⑩	三宅島郷土資料館	阿古 497番地	災害時設置
	⑪	旧阿古小学校・体育館	阿古 497番地	災害時設置

地区	索引番号	名称	住所	電話
坪田	⑫	坪田体育館	坪田3007番地	災害時設置
	⑬	都立三宅高校・体育館	坪田4586番地	6-1136
	⑭	三宅村役場周辺広場	坪田1774番地	

※赤色は高濃度地区のため津波時のみの避難所です。

携帯電話からレーダー等の観測資料や防災情報を見ることができます

防災情報提供センター: <http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html>

携帯端末用QRコード



※今、どれくらい雨が降っているかを、パソコンや携帯電話で見ることができます。

(東京都水防災総合情報システム)

パソコン: <http://www.kasen-suibo.metro.tokyo.jp/im/tsim0101g.html>

携帯電話: <http://www.kasen-suibo.metro.tokyo.jp/k/>



### 非常用持ち出し品

- リュックサック
- 貴重品、お金
  - 現金(小銭も)
  - 預金通帳
  - 印鑑
  - 健康保険証など
  - 身分を証明するもの
- 日用品
  - 懐中電灯
  - ラジオ
  - 電池
  - 軍手
  - マスク
  - ティッシュ
  - 生理用品
  - マッチやライター
  - 厚手のゴミ袋
  - 工具
- 食料品(目安3日分)
  - 飲料水
  - レトルト食品、缶詰
  - など
- 衣類
  - 下着
  - タオル
  - 雨具
  - など
- 医療品など
  - 救急医療品
  - 常備薬
  - 持病の薬
  - など
- 体を守るもの
  - 防災頭巾やヘルメット
  - 長靴
  - など

### 災害に備えて日ごろからできること

- 防災マップをみて、噴火や津波の被害を受けるおそれのある範囲や土砂災害のおきやすい場所など、あらかじめ危険な場所を知っておきましょう。住んでいる場所にどのような危険があるかを知っておくことは大変重要です。
- いざというときにどのように避難するか、防災マップを参考にして避難場所と避難経路を確認しておきましょう。
- 非常時の持ち出し品を用意して、ときどき点検しましょう。

- ◎大雨注意報が発表されたら
  - ・沢筋から離れて下さい。
  - ・避難の準備をして下さい。
- ◎大雨警報が発表されたら
  - ・役場の指示に従って下さい。
- ◎津波注意報・津波警報が発表されたら
  - ・海から離れて高台に移動して下さい。
  - ・役場の指示に従って下さい。



# 三宅島 防災マップ

## 防災マップについて

三宅島防災マップは、自然災害が発生することを予想し、**泥流がはらんするおそれがある範囲とその程度、津波や火山ガス等によって被害を受けるおそれがある範囲**、さらには各地区の避難所を示しています。住民の方々にこれらの被害の可能性を知っていただくことにより、緊急時の避難などに役立たせるために作成しました。

○マップの作成にあたっては、およそ100年に一度起こる程度の大雨(24時間で436mm)を想定しています。雨の降り方によっては、**実際のはらん範囲はこれよりも広くなったり、逆に狭くなったりすることもあります。** また、土地のかたがかわったり、砂防施設などが建設されたりすると、はらん範囲が変化します。

○大雨のときや、津波のおそれのある時には、役場から避難の勧告あるいは指示が出されますので、**防災無線や広報車などの情報に注意しましょう。** いざという時に備え、**あなたの家から避難所までの道筋や、家族との連絡方法などを確認しておきましょう。**

○このマップは、砂防・火山や津波などの学識経験者や専門家の意見を聞きながら、東京都建設局が作成した泥流氾濫想定区域図をもとに作成したものです。

なお、このマップは平成24年2月時点の砂防ダムなどの建設状況をふまえて作成されたものであり、さらに、建設が進むことにより修正されるものです。 平成24年3月 三宅村

## 泥流災害・水害とは・・・

- ① 泥流とは、雨によって流れ出した土砂が、地形の低い方へと勢いよくまっすぐに流れる現象です。大きな岩や立木などを含むため破壊力が大きく、巻き込まれると抜け出せません。
- ② 泥流は自動車よりも早く流れることがあり、家や橋なども押し流されるおそれがあります。大雨警報が出た場合には、沢や谷底においてははいけません。その周辺や橋の上も危険な場合があります。
- ③ 短時間に大量の雨が降ったり、長雨が続き、地中にしみこめない水が、道路や家の中へも浸入することがあります。また、ときには短時間で水深が上がることもあります。
- ④ 豪雨や長雨のときは、沢など周囲よりも低い場所や泥流の危険がある場所には近づかないようにしましょう。防災無線や広報車などの情報に注意しましょう。

噴火から時間が経っても、大雨のときには泥流発生のおそれがあります。泥流には車や家を押し流す力があります。

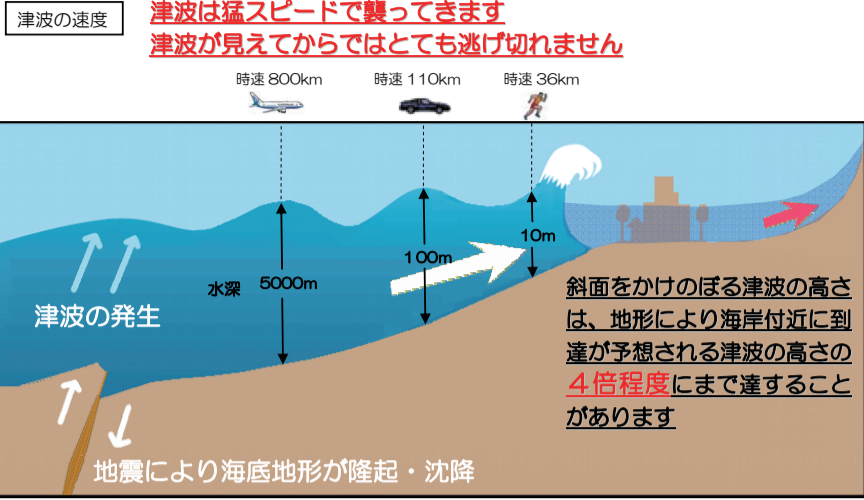


短時間で水位があがり、道路と川の境もわからなくなることがあります。



## 津波とは・・・

津波は、主に海域で起きた地震によって、海の水が陸地に押し寄せる現象を言い、下図の特徴があります。大きな揺れや、ゆっくりした揺れを感じたら、すぐに避難しましょう。



## 火山ガスの影響とは・・・

三宅島の火山ガスには、健康に影響を与える有毒物質、二酸化硫黄が多く含まれています。二酸化硫黄は、無色で刺激臭のある気体で、下記のような健康被害の発生が想定されています。このため、三宅島で安全に生活できるように、火山ガスの注意報・警報が発令されているかを、三宅村のホームページやテレホンサービス等で情報を提供していますので、ご参照ください。

- <長期的な影響>
- 体内には蓄積されませんが、**持続性のせき・たん等の症状が出るリスクが増加します。**(年平均値が0.04ppmの場合、「せき・たん」の有症率は通常より2%程度上昇します。)
- <短期的な影響>
- 呼吸器や目、のどなど粘膜を刺激し、**高濃度になると呼吸が苦しくなることがあります。**
  - 健康な人が感じない低い濃度でも、**高感受性者では喘息の発作を誘発したり症状を増悪させることがあるため、注意が必要です。**
  - 警報レベルより高い濃度では、**生命に関わる重篤な健康影響のリスクがあります。**

火山ガス情報等を24時間提供しております。

- ・インターネット <http://www.miyake-so2.jp/>
- ・携帯電話 <http://www.miyake-so2.jp/keitai>
- ・テレホンサービス 04994-6-0565
- ・防災行政無線の内容再確認 04994-6-0813

